

前衆議院議員 けい い ち ろ う

あさお慶一郎

神奈川県第4区

(横浜市栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

活動レポート 2020年6月号 No.302



再起！ここから一緒に。

今月の提言 アフターコロナで目標にすべきこと

出口戦略に必要なこと！

緊急事態宣言が解除されました。もちろん、第二波、第三波の感染拡大を警戒しなくてはならず、直ちに元通りになる訳ではありません。しかし、そろそろ私たちも出口に向けて動き出さなければなりません。その場合に何が必要なのか、真剣に考える時期が来ています。5月号の活動レポートにも記しましたが、まずは、「コロナ以前の日本の社会を取戻す」ことです。いえ、できれば「災い転じて福となす」何かを生み出したいものです。

航空会社株式を売却したウォーレン・バフェット氏

著名な投資家のウォーレン・バフェット氏は、航空需要が完全に元に戻るには4年かかるとし、所有する航空会社株式をすべて売却しました。日本で感染症を抑えられたとしても、世界で流行が続けば、海外から第二波、第三波の流行が日本に襲いかかる可能性もあります。引き続き水際では警戒が必要です。

変化する需要の中身

近年、我国の経済を活性化させた要因の一つはインバウンドでした。年間3000万の外国人が日本を訪れ、日本滞在中に一人20万円を消費するのです。これは人口が300万人増えたことと同じ効果だといわれます。人口減少が続く日本には言葉以上の恵みの雨ということです。この需要が完全に戻るまで4年かかるとすれば、復興はいばらの道です。コロナを想定せずインバウンド需要を見込んでいた事業者には大変な痛手でしょう。国内の需要に関しても同じです。そもそも緊急事態宣言中、あるいはそれ以前に蒸発した売上は、取り戻せません。早急に大規模な第二次補正

予算を編成すべきですが、それですべてがカバーされるはずもありません。

「災い転じて福となす」可能性

では、「災い転じて福となす」可能性はどこにあるのでしょうか？上半期の世界の二酸化炭素排出量は激減しています。仕事のやり方にリモートの側面を引き続き取り込むことで、今後も二酸化炭素の排出量削減が実現出来ればかねて人工光合成を提唱している私には福音です。同時に、対面でなくても出来る仕事を引き続きその方式で行うことで、我国の生産性は引き上げられます。私が主張してきた「所得を増やそう！」という呼びかけとも合致します。当面、地球環境面の改善とリモートワーク推進による生産性向上をコロナ後の「福」にして参りつつ、詳細を次号以降にまとめて参りたいと思います。

前衆議院議員 浅尾 慶一郎



浅尾慶一郎プロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学経営大学院 (MBA) 修了
玉川大学 講師

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選(2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選(2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選(3期目)

浅尾慶一郎事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5F
TEL: 0467-47-5682 / FAX: 0467-47-5626 e-mail: info@asao.net

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさおの思いはコチラから。

<http://www.asao.net>

http://twitter.com/asao_keiichiro

<http://facebook.com/asao.keiichiro>



「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞を受賞されました！

今月のこの人 湘南桂台みどりの会 会長 なんり かなめ 南里 要さん



湘南桂台みどりの会のメンバーと

横浜市栄区の湘南桂台元自治会長の南里さん、「また人が元気になるような美しい街に再生したい」と、有志20人と「湘南桂台みどりの会」を結成、横浜市の地域緑のまちづくり事業助成金に応募しました。緑化事業は素人の皆さん、試行錯誤の日々からスタートしながらも、民間事業者（訪問の家、イトーヨーカドー、神奈中バスなど）を訪問し協賛を依頼、行政・地元造園業者と緊密に連携をし、街に緑を増やして

行きました。横浜市助成金事業である活動は2019年度に終了。街はたくさんの方の花と緑で再生され、一連の活動は今年5月国土交通大臣賞として表彰されるまでになりました。

今では緑化事業に参加した現役世代の若者が先頭に立ち、「桂台げんき満天フェスタ」を計画しています。「これからは花と緑で美しくなったこの街をどう活性化していくか、若い皆さんと一緒に考えたい」と語っていただきました。



活動 1 各種補助金・助成金（事業者対象）の説明会を開催

新型コロナに負けない！



浅尾慶一郎より趣旨説明

5月27日（水）浅尾事務所は「制度の応募方法が判りにくい」、「用意すべき書類が判らない」などの地元の事業者の皆様からの声にお応えすべく、コロナウィルス感染拡大下の各種補助金・助成金の無料の説明会を開催しました。会場は横浜市栄区の信光社様の会議室。参加者間の仕切り、マスク、フェイスガードと感染対策もしっかり実施しました。

当日は社会保険労務士、行政書士、信用金庫職員の皆さんがボランティアとして参加、様々な制度について事業者

の皆さんへ丁寧にご説明をいただきました。参加者からは「忙しくて、補助金申請ができていなかったけど、これでやれると思った」「判り易くて助かった」などのお声をいただきました。この状況下で頑張っている皆様へ、浅尾事務所ではこれからも様々な支援策続けます。



各種制度を判り易く説明



感染拡大防止策を施した会議室

ご案内 月刊誌「正論」6月号に浅尾が寄稿しました

月刊誌「正論」（編集：産経新聞社）に「韓国・北朝鮮から日本海の主権を取り戻せ」との浅尾慶一郎の原稿が掲載されています。大和堆と言われるエリアを中心とした日本海における主権問題をテーマにしています。この文章を目にした元内閣情報調査室調査官で北朝鮮のスパイを逮捕した実績を持つ方から、『今の現役の情報関係者でもここまで分かる人間はいない。本当に良く調べられた。日本海の海洋主権を守る体制の整備は重要な課題だ』との感想をいただいています。



特別賛助会員募集・各種イベント申込

「あさお慶一郎君を応援する会」では浅尾慶一郎の政治活動を支援する一助として「特別賛助会員」（5,000円/年）の募集を行っております。ご入会された方には、大船「ちいりんご」の店主 まつもとちえこさんがデザインを手掛けた、今年の干支である子（ねずみ）の「オリジナルピンバッジ」をお送りさせていただきます。



お申し込み記入欄（お申し込みFAX番号：0467-47-5626）

イベント（お申し込みをされる項目に✓をしてください）	お名前	生年月日	年	月	日
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員 <input type="checkbox"/> 「所得を、増やそう」ポスターの掲示希望 <small>*ご自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください</small>	ご住所				
	電話	携帯電話			
	E-mail				